

第4回アジア文化交流懇談会 議事要旨

日時：平成25年8月28日（水） 15時00分～17時00分

場所：首相官邸4階大会議室

出席者：

（有識者）

山内 昌之（座長）	東京大学名誉教授
井上 弘	日本民間放送連盟会長
猪子 寿之	チームラボ代表
北野 武	映画監督、俳優、タレント
迫本 淳一	松竹株式会社代表取締役社長
知花 くらら	モデル、WFP 国連世界食糧計画オフィシャルサポーター
長谷川 三千子	埼玉大学名誉教授
宮廻 正明	東京藝術大学教授、日本画家
森田 健作	千葉県知事、俳優

（政府）

加藤 勝信	内閣官房副長官（政務）
杉田 和博	内閣官房副長官（事務）

議事概要：

1. 加藤副長官挨拶

懇談会の冒頭、加藤副長官より、安倍総理の7月の東南アジア諸国訪問の際のマレーシア、フィリピンでの首脳会談、シンガポールでの『シンガポール・レクチャー』において、また、8月のベトナムの首相との電話首脳会談の際、それぞれ、本懇談会についての言及があったことを御紹介の上、本日も活発な議論を期待すること等につき、挨拶がありました。

2. 事務局からの説明

事務局側から、委員から聴取したコメントを取りまとめた提言案につき、説明がありました。

3. 自由討議

事務局側からの説明を踏まえ、委員から、自由な発言、議論がありました。主な発言趣旨は、以下のとおりです。

・目先の成果をあげることに目を奪われず、日本らしい、オープンで公正なやり方で、文化交流を進めていくことが肝要である。安倍総理がシンガポールの演説で

- 言及された「くつろいだ精神の交流」も、日本らしい文化交流の一つの在り方。
- ・日本でもし映画祭をやるのなら、呼ばれた作品をすべて表彰し、順位をつけないやり方が、日本らしいやり方として良いと思う。
 - ・西アフリカの学校への支援を行っているが、学校給食を用意することにより通学意欲を維持させたり、出資者と児童の写真を交換したり、といった工夫や連動するシステムを作ることは効果的である。
 - ・文化交流事業を、単発でなく、継続して実施していくことが大切と再確認したい。政権交代や省庁の担当者が交代することで、施策が止まることは避けるべき。
 - ・施策を実現させていくにあたり、新しいものも大切だが、たとえば東京国際映画祭や国際交流基金などの、既存の体制や受け皿を充実させ、活用することも考えるべきである。
 - ・提言案に、どこまで具体的な例や事業案を記載、掲載していくべきか。
 - ・施策が現実化する際には、日本国内に周知をはかるべく、PR活動を盛り込むべきと考える。
 - ・日本のアニメは、海外で好評であり、これを日本について学習する手段として活用することを考えるべき。また、海外での日本のテレビ番組放映は効果の高い事業であり、番組制作支援に続き、放送枠の確保なども検討を進めてほしい。
 - ・継続して交流を続けていくためにも、現地の意見を吸い上げるような仕組みを設けることは有益と考える。
 - ・ASEAN 各国から、国を代表するようなデザイナーを集め、デジタルアートの要素の入ったファッションショーを開催してはどうかと考える。たとえば、通り過ぎると、モデルの後ろのスクリーンに当該国文化、歴史を反映したイメージが表示されるなど。
 - ・アートに関する活動は、持ち主から、壊しても良いような施設を提供してもらよりも、実際に使用中の施設や、ここにそんなことをして良いのか、と思うようなところで作業ができるくらい、積極的な関与が望ましい。
 - ・タイのファッションブランドなど、勢いのあるアジアのファッションブランドを集めて、リアル・クローズ（日常着用する衣服）のファッションショーを、他分野のイベントやアイデアを加味して実施し、フェスティバルとして盛り上げてはどうか。
 - ・鹿児島県の南日本放送は、鹿児島を紹介するローカル番組を、台湾の放送局に販売して放映している。利益にはつながっていないようだが、鹿児島に関心を持ってもらい、観光などに来訪してもらう狙いがある。地方は、それぞれ努力をしてくているが、そういった活動をサポートしていくことも一案である。
 - ・タイで放映されている千葉県を紹介する番組は、現地に進出している日系企業にスポンサーになっていただいている。政府には、そのような現地の情報や知恵なども出していただけるとありがたい。

- ・我々委員はたくさんアイデアや発想を出して、どこまでが実現可能かは事務方が考えるという、役割分担をするのが良いと思う。
- ・目に見えないがしなやかで強い蜘蛛の糸のように、いろいろな既存の要素を複合的に取り込んで新しいものを作り出していくのが、日本らしい文化の在り方であり、日本人の得意とすることであろう。
- ・日本のアニメが海外で評価されているが、鉄拳が描くパラパラマンガもたいへん評判になっている。たとえば、総理に一枚絵をかいて頂き、そこから話を展開させるようなことを、大勢がやっても面白いと思う。アジアの文字は多様なので、日本、韓国、タイ等各国の文字を書の達人に書いてもらって比べたり、シェークスピアの演劇を各国の人が上演してそれを比較するというのも面白いと思う。基本的なルールは定めて、自由な発想で、展開させることを考えれば良いと思う。
- ・日本語は、謙譲語、尊敬語、丁寧語などがある珍しい言語である。日本語の学習は、機能としての言語の習得というだけでなく、日本の文化、日本語の持つ哲学などを知ることであり、それをアピールしては如何か。
- ・日本語教育と文化紹介の融合は、大事なテーマであるが、難しいテーマとも聞いた。文化的側面を強調しすぎると、学習者に、日本文化の押し付けと受け取られ、反発される恐れもある由。しかし個人的には、文化紹介は積極的に取り組むべきだと思う。また、たとえばミャンマー語は、インド・ヨーロッパ語とは違い、日本語と同様、一人称や二人称に様々な言い方がある。アジアの言語の独自性を共に掘り下げていくのは、これからの課題と認識する。
- ・敬語の廃止や文字（漢字）の簡略化、日本語のローマ字化などの考えは、文化の自己消滅につながる愚挙と思われる。
- ・日本語は、ラテン語からサンスクリット、アラビア語に至る諸文献まで含め、多くの言語の翻訳が高いレベルで揃っており、日本語を学ぶことで、多くの世界の古典や現代作品に触れることが可能となる汎用性の高い言語であることも、魅力といえよう。

以上